

# H23年7月下旬の沿岸域の海況と漁況

鳥取県栽培漁業センター発行H23.8.1(担当:野々村)

## 7月下旬の漁況

- ・シロイカの漁獲量は昨年同期よりもやや良い。
- ・タイ類は昨年同期と同程度。
- ・刺網によるアジ類は昨年同期よりも少ない。

## 各地の漁獲情報 (7/20~7/26まで)

出所:漁協担当者への聞き取り調査による

漁法	魚介類	水揚場所	漁獲量 (1日あたり)	操業数 (1日あたり)	備考
刺網	タイ類	淀江	5~30箱	4~5隻	
		赤碕	10箱前後	3隻	
		泊	20箱前後	3~4隻	
		酒津	30~90箱	5~6隻	
		ハマチ	御来屋	10~170箱	2~4隻
	アジ類	赤碕	5~30箱	3隻	
		酒津	140~300箱	2隻	
	アジ類	酒津	3~10箱	1~2隻	
	サゴシ	赤碕	5~20箱	3隻	
	サザエ	淀江	200~560kg	5~10隻	
		御来屋	500~900kg	17~18隻	
巻き網	シイラ	赤碕	7箱	1組合	1日間のみ
桁網	レンコダイ主体	泊	20箱前後	3~4隻	
一本釣	シロイカ	淀江	20~50箱	3~6隻	
		御来屋	5~40箱	4~5隻	
		赤碕	10~120箱	30隻	
		泊	20~40箱	5~6隻	
		酒津	10~20箱	3~4隻	
	アジ類	赤碕	5~20箱	5隻	
		泊	5~10箱	3~4隻	
素潜り	イワガキ	淀江	30~60箱	10~15隻	1箱6本入
		赤碕	20~50箱	5~8名	
		赤碕	30~40箱	5~7名	
		泊	20箱前後	4~5名	
		酒津	3~8箱	2名	

※台風6号の影響で操業日数は1~3日間であった。

※アゴ類の操業が7月20日前後で終了した。

## 7月下旬の沿岸域の海況

表面水温は昨年同期より約3℃低い。7月上旬から約1℃上昇。  
クロロフィルa量は昨年同期より高い。沖側は7月上旬より0.3μg/L上昇。

- ・表面水温は23.4~24.6℃、0~20 m層の平均水温は22.7~24.2℃。
- ・赤碕と長尾鼻の沖側の水深185 m (底層) の水温は3.9と5.7℃。

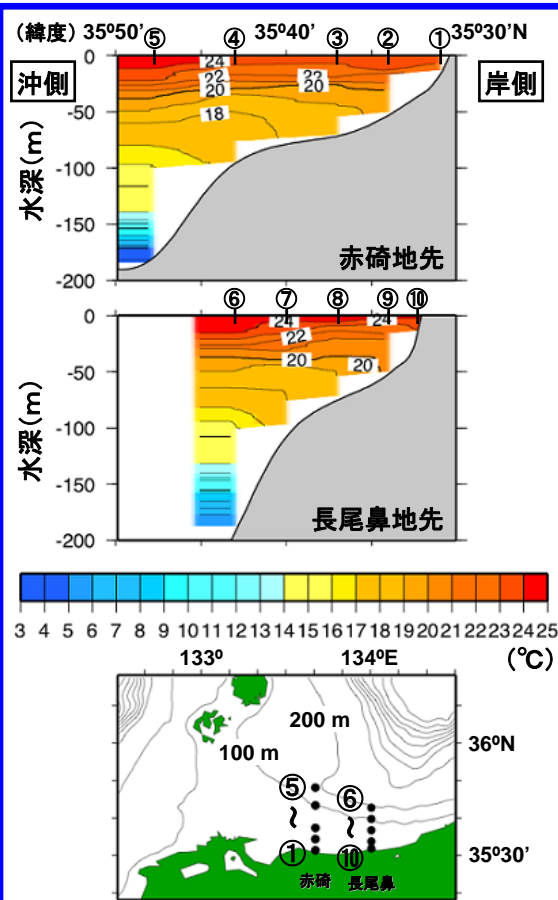


図1) 7月26日の赤碕と長尾鼻の地先における水温の鉛直分布(上図)と観測点(下図)。

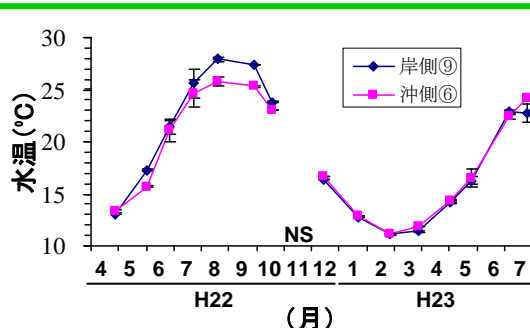


図2) 長尾鼻地先の表層の水温の平均値の季節変化。NS:観測データ欠測。

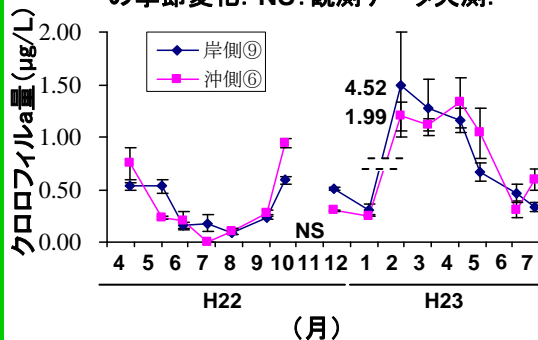


図3) 長尾鼻地先の表層のクロロフィルa量の平均値の変化。NS:観測データ欠測。

- ・水温は昨年同期より約3℃低い。
- ・クロロフィルa量は昨年同期より高く、0.3~0.6μg/L。
- ・低水温と高クロロフィルは、台風6号による海水の鉛直混合が主な原因。